



"TM4086+"は90年代にF社から発売されたヘッドアンプのサウンドをモチーフにしたドライブペダルです。

アンプサウンドがモチーフですが、汎用性の高いクランチ、ドライブペダルとして使用可能です。

左側にはドライブセクション、右側にはブーストセクションがあり、ON/OFFフットスイッチは両セクションのマスターON/OFF、BOOSTフットスイッチはブーストセクションのみのON/OFFです。

「CH.Aのクリーン～上げていったナチュラルドライブ～CH.Bのクランチ程度まで」を左側のドライブエリア単体で狙い、「CH.BのFATオンのクランチ～ドライブサウンド」を右側のブースターセクションをプリ段でONすることで狙っています。

また、内部にはブーストセクションのマスター音量トリマーと、ブーストセクションのプリ、ポストの順番を入れ替えるためのスイッチを内蔵しています。

中央の大きなボリュームノブは、耐久性の高いポットを使用しており、ストップ強度はスペック上9.18kgf·cm以上です。足での操作が可能ですが全体重を掛けるなどすると壊れる為、つま先で回すような動作が対象です。

**重量:**約430g **サイズ:**(W)120 x (D)102 x (H)61

※単位mm/突起含む

**電源:**9Vアルカリ電池、あるいは安定化済みのACアダプタ、バワーサプライ(DC9V、センターマイナス2.1mm)

**消費電流:**約17mA

## フットスイッチ

[左] BOOSTERセクションを含むオンオフスイッチです。オフ時はトゥルーバイパスです。  
[右] BOOSTERセクションのオンオフスイッチです。

## ノブ

### ドライブセクション

#### GAIN

ゲイン量を調節します。

#### TONE

高域のコントロールです。NFBタイプになっており、倍音成分のコントロールができます。

#### VOLUME

出力音量を調節します。

高耐久のポットを使用し、回転のストップ強度はポットのスペック上9.18kgf·cm以上となります。

足での操作が可能ですが全体重を掛けるなどすると壊れる為、つま先で回すような動作が対象です。

### ブーストセクション

#### BOOSTER

上げるほどブースト音量が大きくなります。それと共にミッド～ハイ帯域の押し出しが強くなります。

Ovaltöne WARM GEARをベースとしてMT4086+用にチューニングしたBOOSTERが入っています。

## 内部

### BOOSTER内部トリマー

内部トリマーでBOOSTERのマスター音量を調節できるので、任意のつまみ位置のサウンドのまま音量の増減を調節できます。ボストブースト時は少し下げたほうが扱いやすいです。出荷時は約80パーセントの位置になっています。

### BOOST→DRIVE DRIVE→BOOST スイッチ

ブーストセクションとドライブセクションの順番を入れ替えるスイッチです。

出荷時はBOOST→DRIVE状態です。

## ◎使用上の注意

### 【電源】

◆ACアダプター使用可能機種の場合 ※火災、感電の原因になる場合があります。

- ・安定化済みACアダプタ(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)をお使い下さい。  
非安定化アダプタなどを使用するとノイズや故障の原因になる場合があります。
- ・ACアダプタの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときはACアダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器(パワーサプライ)を使用される際は、次の事柄に注意してください。  
故障の原因になる場合があります。

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に1つ以上のエフェクターに接続されている場合、パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース(外装)に接触させないで下さい。  
一度電源供給器(パワーサプライ)をオフにしてから接続して下さい。

### ◆電池使用可能機種の場合

- ・9V乾電池を使用してください。
- ・電池のプラスとマイナスを間違えないで下さい。故障、液漏れの原因になる場合があります。
- ・使用しない時はINPUTジャックからプラグを抜いて下さい。電池の消耗を抑える事が出来ます。  
また、長期間使用しない場合は液漏れを防ぐ為、電池を抜いて下さい。

### 【扱い】

- ・使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。
- ・製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。  
また、音質や音色が損なわれる可能性があります。
- ・製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。
- ・トゥルーバイパスの機種は、INPUTとOUTPUTを逆に接続してもOFF時には音が出ます。お気をつけ下さい。
- ・オペアンプ搭載機種は故障時のメンテナンスの為、ソケットを使用しています。ご自身での交換はお控え下さい。

## ◎保証規定

保証期間内に当社の責任による故障が生じた場合は無償にて修理させて頂きます。  
ただし下記に示す場合は有償修理となります。

上記「使用上の注意」が守られなかった場合/消耗部分の交換/お買い上げ後の移動輸送時の事故  
/災害や天災による損傷/保証書に販売年月日、販売店名の記載がない場合/接続していた他機器の影響による損傷

※保証修理の場合は必ず本取扱説明/保証書を同梱頂きますようお願い致します。